

福祉制度について① ～「日常生活用具」～

「日常生活用具」って、聞かれたことはありますか？

日常生活用具は、仕事や日常生活を容易にするために、聞こえやコミュニケーションなどを補うための用具で、市町村から給付および修理を受けることができる福祉制度です。

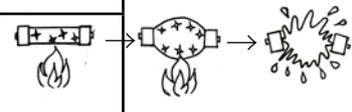
卒業される生徒さんで、春から一人暮らしをされる方もいらっしゃると思います。

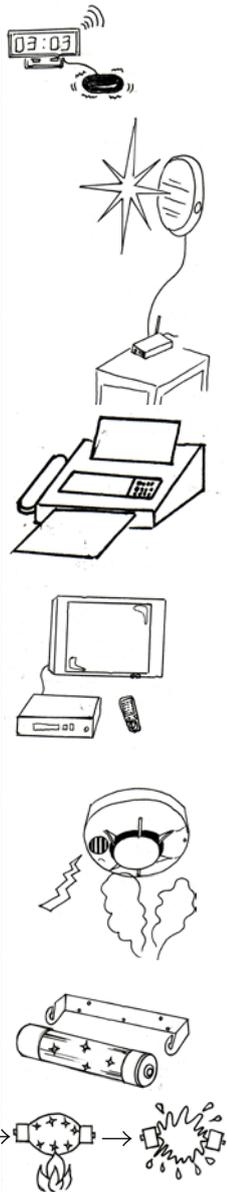
せっかくの制度です。賢く使えば、生活の質をアップさせることができますよ。

聴覚障害の場合、下に示すような給付・貸与が受けられることが

多いようです。

表は目安としてまとめています。自治体によって、内容や基準、額などが異なりますので、制度の活用の際には、お住まいの市役所などへ直接問い合わせてみてください。

種目	障害及び程度	18歳以上	18歳未満	基準額 (補助限度額)	耐用年数	どんなもの？
聴覚障害者用屋内信号装置 (屋内信号灯、振動式腕時計・目覚時計など)	聴覚障害者2級以上 聴覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯で日常生活上必要と認められる世帯	○		87,400円	6年～10年	お客さんの訪問・FAX・アラーム(目覚まし)等を、光やバイブレーターでお知らせします。
聴覚障害者用通信装置 (ファクスなど)	聴覚障害者又は、発声・発語に著しい障害を有するものであってコミュニケーション、緊急連絡などの手段として必要と認められる者	○	○ (原則、学齢児以上)	71,000円	5年	音声の代わりに文字等で連絡を行うための機械です。
聴覚障害者用情報受信装置 (CS障害者放送受信機など)	聴覚障害者であって、本装置によりテレビの視聴が可能になる者	○	○	88,900円	6年	字幕放送や聴覚障害者専用の番組を見ることができます。また、災害時に地域別の緊急信号を受信し光警報器でお知らせします。
火災警報機	障害等級2級以上療育手帳重度又は最重度 火災発生の感知及び避難が著しく困難な障害者のみの世帯及びこれに準じる世帯	○	○	15,500円	8年	火災発生時、火や煙を感知してお知らせします。特定の周波の音を発生し屋内信号装置がその音をキャッチして光ります。
自動消火器		○	○	28,700円		火災発生時、熱を感知して自動的に消化します。
福祉電話・ファクス (電話権を貸し出すだけの制度の場合もあります。)	2級～3級以上障害者のみの世帯 ファクス…電話では意思疎通困難 通話料金は本人負担	○		貸与		



3月3日は、何の日か知っていますか？

3月3日は「耳の日」です。どうして、この日が耳の日なのでしょう。

それは、次のような理由からなのです。

- ①数字の3が耳の形に似ていること。
- ②3・3で「ミミ」と読めること。
- ③電話や音声機器の発展に重要な役割を果たしたグラハム・ベルの誕生日が3月3日であったこと。

アレキサンダー・グラハム・ベルは、電話の発明者ですが、ろう学校をつくり、難聴児の教育をされた方としても有名です。

ベルの父（メルベル：「視話法」を開発）や祖父は発音の指導が上手でしたし、ベルの母と妻は聾者でした。

ベルは、口話主義に取り組みましたが、一方で手話が流ちょうであったという話もあります。また、ベルのおかげで、三重苦のヘレン・ケラーと家庭教師アン・サリバンが出会いました。

3月3日はアン・サリバンが、ヘレン・ケラーに教育を開始した日でもあります。

※ベルのことを詳しく知りたい方は、『孤独の克服～グラハム・ベルの生涯 (NTT出版)』や『ヘレンケラーを支えた電話の

父・ベル博士 (あすなる書房)』などをお読みください。

ヘレンケラーについては、児童向け絵本やマンガから、自伝にいたるまで、多くの本が出ていますので読んでみてはどうですか？

アン・サリバン



ヘレン・ケラー グラハム・ベル

本の紹介

『重複聴覚障害者をかかえる児童・青年期の人々とその家族への支援』

永石晃 著

日本評論社

定価 7,500円+税

聴覚障害児・者とその家族への教育的・心理的支援について教育の実践からアプローチした専門書です。

著者・永石晃【都立大塚ろう学校杉並分校教室教諭】



『知っていますか？』

聴覚障害者とともに一問一答』

稲葉通太 監修

デフサポートおおさか 編著

解放出版社

定価 1,200円+税

聴覚障害者のくらし、就労、教育、福祉サービス、遊び・スポーツ、手話など様々な視点から、耳の聞こえない人と共に生きるにはどんなことが望まれるか、一問一答でわかりやすく説明されています。

監修者・稲葉通太【大阪府立生野ろう学校小学部教員】

編著者・デフサポートおおさか【聴覚障害者に支援を行う特定非営利活動法人】



『そだちの科学 No.9』

特集 視聴覚障害とそだち』

日本評論社

定価 1,333円+税

